

製品紹介

杖先 パームチップ

あらまし

視覚障害者の白杖の杖先として、粗い路面でも自在に滑り、路面から離すことなく確実に、楽に使えて、穴に落ちにくく、スライド法で、左右に振りながら、前へ滑らせて、足元を確認し、性状も分かり、路面をたどりながら歩けます。たたく使い方もできます。

ご購入は、お馴染みの販売店にご相談ください。税込 4,000円です。従来の白杖の杖先に付け替えられますし、標準で装着された白杖もあります。

仕組みと動作

頭と首をクッションでつないだ構造です。地面に斜めに当てられて、前へ押されると、クッションを中心に頭がねじれ、限界になると、ねじれたクッションの弾力で、飛び跳ねて進み、また元に戻るの、あたかも回るように、断続的な転がりをしながら前へ進みます。左右や後ろには、通常の滑りをします。

当たるのは頭の角なので、角の一周が摩耗するように均等に使います（**取付方法の注意**を参照）。

仕様

PT4US ●標準的なシャフト（軸）太さ12.7ミリの白杖用の杖先。●太さ40ミリ、長さ55ミリ、重さ20グラム。●頭は、磨耗と摩擦が小さい超高分子量ポリエチレン製。首は、弾力あるナイロン製。クッションは、丈夫な発泡クロロブレンゴム製。

取付方法

●取り付けは、首の穴にシャフトの先を軽く刺してから、頭から地面にたたき落として、入れてください。首の幅と同じ深さ（16ミリ）ほど入ります。

●軽い白杖なら、首の穴にシャフトの先を軽く刺してから、両手で、シャフトを短く握り、頭から地面に押しつけて、入り方を確認しながら、少しずつ、体重をかけて、押し入れてください。



●元の杖先の太さが12.7ミリなら、その先にパームチップをつけられます。

●（注意）片減りを避けるため、直杖では、持つ向きが固定されるグリップは不向きです。切り欠き程度のグリップなら、持つ向きをたまに回しながら使えます。折りたたみ式の白杖なら、シャフトが自由に回るので、気をつけて使えば問題ありません。

取り外し方法

●首の付け根に、膨らみがあるので、そこをプライヤー（管などを噛んで回す工具）で握り、ゴム手袋をした手でシャフトを握って、両手に構え、ネジりながら、引き抜いてください。

●従来品についている古い杖先を外すには：念のため、左回り（時計と反対向き）に、ネジりながら、シャフトから引き抜いてください。

開発と製造：有限会社テイクス（T9020002010292）
244-0842 横浜市栄区飯島町1579-1
電話 045-890-6898 FAX 045-890-6899
palmsnar.com PT2026a.pdf

